

NPO法人プラネット映画保存ネットワーク 年間報告

2020年度(第2期)

2020年5月1日～2021年4月30日

2020



神戸映画資料館
KOBE PLANET FILM ARCHIVE

ご挨拶

1期目は半年で決算期を迎えましたので、今回が初めての1年間の決算となります。

1年を通して新型コロナウイルスの流行に翻弄され、わたしたちの活動にも大きな影響がありました。予定していた上映会やイベントの一部は中止や延期となり、実施できても席数制限が必要でした。ボランティアのみなさまにお集まりいただいて行っていたチラシなどの資料の整理活動もほぼ休止状態になりました。

しかし、ご寄附や、クラウドファンディング「ミニシアター・エイド(Mini-Theater AID)基金」、京阪神のミニシアター連携による「Save our local cinemasプロジェクト」を通じていただいたご支援により運営を維持することができました。心より感謝いたします。

連携団体の神戸映像アーカイブ実行委員会が主催する神戸発掘映画祭2020も中止になりましたが、その代わりにガイドブック「甦った世界の映画」の発行や、神戸映画資料館所蔵の『黄金の弾丸』(1927年/東亜キネマ甲陽撮影所作品/監督:印南弘)をオンライン配信するなどの取り組みが行われました。

調査研究の面では、文化庁の「メディア芸術アーカイブ推進支援事業」のもとで「神戸映画資料館所蔵アニメーションフィルムのデジタルアーカイブ事業」を実施し、大きな成果がありました。この事業は2021年度も継続します。

引き続き志を同じくする仲間や関係各所と連携し、お互いの活動を深めていきたいと思えます。

支援者の皆様や会員の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

NPO法人プラネット映画保存ネットワーク

理事長 安井喜雄

専務理事 田中範子

設立趣旨書

フィルムアーカイブ活動(映画フィルムの収集・保存・公開)を行う日本国内の主たる機関としては、国立の「国立映画アーカイブ」、地方自治体が運営する「広島市映像文化ライブラリー」「京都府京都文化博物館」「川崎市市民ミュージアム」「福岡市総合図書館」などがあります。しかしながら、法定納入制度のような仕組みがない映画フィルムの保存と収集は、映画会社の方針や社会情勢に左右される部分が大きく課題は多く残っています。その一方で愛好家の収集により失われることをまぬがれたフィルムも多く、その価値が認められつつあります。

「神戸映画資料館」は、まさにそういう個人の収集活動から始まったものです。その時代の評価や人気にとらわれずに収集してきたことにより、忘れられていた作品や軽視されてきたジャンルの映画なども保存されてきました。それが現在、失われていたと思われていた幻の映画を多数発掘することにつながっています。

1974年、わたしは映画好きの仲間とサークル団体「プラネット映画資料図書館」を大阪に設立しました。それから数十年にわたって多数の映画フィルム、書籍、パンフレット、ポスター、機材など、映画に関するあらゆる種類の資料を集めてきました。しかし、所蔵資料が質量ともに充実するにつれ、収蔵する場所の確保や、資料の整理が追いつかなくなっていました。そのような状態であったころ、神戸・新長田において、われわれの映画資料をもとにした文化施設づくりが、兵庫県と神戸市の協力を得て進展し、2007年3月に「神戸映画資料館」が開館するに至りました。立ち上げ初期は「新長田まちづくり株式会社」が「兵庫県商店街活性化事業」を活用する事業主体となり、わたしが代表をつとめる「神戸プラネット」が運営委託を受け、その後2009年からは「神戸プラネット」の独立採算事業として運営をしてきました。

2014年には「一般社団法人神戸映画保存ネットワーク」を設立し、文化庁の「美術館・歴史博物館重点分野支援事業」のもと、これまで立ち後れていたフィルムの網羅的な調査が始まりました。ようやく調査研究を行えるようになりましたが、土台である神戸映画資料館の運営は脆弱なままで、有志の個人への献身に頼らざるを得ない状態です。近年、映像分野だけに限らず、アーカイブの重要性の認識が高まっていますが、アーカイブとは文化を未来に繋ぐためのものであり、長期的な視点と運用が不可欠です。

フィルムアーカイブという公共性の高い活動を今後も継続して行うためにはNPO法人化が最良の策であると考え、これを機に、神戸映画資料館を運営する任意団体「神戸プラネット」とその調査部門である「一般社団法人神戸映画保存ネットワーク」を一体化したいと考えます。活動の全体を市民に知ってもらうことで理解と協力、参画を促し、柔軟性のある「市民参加型フィルムアーカイブ」をともに作っていきたいと考えています。

2019年9月10日

特定非営利活動法人 プラネット映画保存ネットワーク

設立代表者 安井喜雄

活動報告

映画フィルム・映画関連資料の収集・保存

フィルム 購入:2件(理事長個人) 寄贈:3件
映画関連資料 購入:6件(内5件理事長個人) 寄贈:9件 献本:31件

映画に関する調査研究事業

令和2年度文化芸術振興費補助金(メディア芸術アーカイブ推進支援事業)

「神戸映画資料館所蔵アニメーションフィルムのデジタルアーカイブ事業」の実施。

- ① 神戸映画資料館所蔵の古典アニメーション(35mm、16mm、9.5mm)をデジタル化
- ② デジタル化した動画をもとに内容調査
- ③ データベース構築、公開と発表

映画上映会

例年以上に所蔵作品の活用に力点を置くことにより、フィルムアーカイブらしい活動を行うことができた。
新型コロナウイルスの感染拡大の状況下での苦肉の策ではあったが、オンラインイベントや、所蔵作品の配信事業に新たに取り組むことができた。

主なプログラム

- ・ 神戸映画資料館所蔵作品フィルム上映
- ・ ウィリアム・A・ウェルマン特集
- ・ シリーズ フレデリック・ワイズマンのすべて in 関西
- ・ 連続講座:20世紀傑作映画 再(発)見
- ・ 前田憲二監督の長編記録映画 連続上映
- ・ 最後のプログラムピクチャーと呼ばれて シリーズ
- ・ 小池照男 映像作品全仕事
- ・ ジョージア[グルジア]映画祭
- ・ 神戸クラシックコメディ映画祭2021 主催:古典喜劇映画上映委員会
- ・ 映画チラシの世界 オンライン開催 主催:神戸映像アーカイブ実行委員会

映画関連資料の公開 展示替え1回(3月)

映画講座、トークショー 11回

活動拠点:アクティブ・アーカイブ・プロジェクト 誰でもアーキビスト

(事業主体:神戸映像アーカイブ実行委員会)

神戸市「まちの再生・活性化に寄与する文化芸術創造支援助成対象事業」

くにづか月イチ上映会(主催:くにづかりボーンプロジェクト) 10回(毎月1回)

シアターレンタル 38回

資料貸し出し 13回

物販 229日(10:30~18:00)

喫茶コーナー 228日(10:30~18:00)

寄附へのお礼

以下の皆様にご寄附をいただきました。

Yumi Machiguchi 様／溝渕一夫 様／相澤 誠 様／大澤亮太 様／川村正英 様／姜 鶴子 様／
野中和隆 様／匿名4名

「つなぐKOBÉアート募金(神戸市ふるさと納税)」を通じてのご寄附、京阪神のミニシアター連携による
「Save our local cinemasプロジェクト」と、クラウドファンディング「ミニシアター・エイド(Mini-Theater
AID)基金」を通じてもご支援をいただきました。

記してここに感謝いたします。

2020年度の会員名簿

理事会 4名

安井 喜雄(理事長／兵庫県)

田中 範子(専務理事／兵庫県)

山根 貞男(理事／神奈川県)

穴田 正幸(監事／兵庫県)

正会員 7名(理事を除く)

いいを じゅんこ(クラシック喜劇研究家)

板倉 史明(映画研究／神戸大学)

上田 学(映画研究／神戸学院大学)

金 稔万(映画作家)

峯 利子(映画作家)

橋本 英治(映画研究／神戸芸術工科大学)

松山 ひとみ(アーキビスト／大阪中之島美術館準備室)

賛助会員 64名

菅野 賢治／寺尾 佳典／辰巳 玲子／小川 健治／寺本 雄三／八朝 裕樹／加藤 文／小川 翔太／土本
基子／羽鳥 隆英／山際 永三／川島 信治／岡 陽子／土居 安子／正岡 健二／向平 由子／鶴久森 典
妙／辛 理華／北村 皆雄／奥所 清美／奥所 千恵子／畑 あゆみ／伊藤 久美子／野口 一男／村山 匡
一郎／太田 耕一／甲斐 史子／田邊 高英／佐野 明子／高岡 茂／天羽 均／石井 岳龍／高槻 真樹／
福原 彰／神谷 伸子／天宮 遙／歡峯 浩二／波多野 ゆき枝／宇野田 尚哉／水野 直樹／木村 光／吉
野 大地／季村 敏夫／藤岡 朝子／加藤 初代／Yumi Machiguchi／浦辻 宏昌／籾山 幸士／井場 宏
／木下 信一／有賀 千洋／植木 豊／金 禮坤／金原 正宏／木内 久美子／川島 智子／服部 光真／山
口 博哉／匿名6名

収支報告

I 収入の部	22,310,690 円	
入会金・会費収入		519,000 円
寄付金		2,721,685 円
寄付金(ふるさと納税)		533,000 円
非営利事業補助金		6,077,000 円
非営利事業アーカイブ事業		548,900 円
収益事業売上		5,832,679 円
収益事業支援収入		2,778,321 円
持続化・休業協力金		3,300,000 円
受取利息		105 円
II 支出の部	20,580,318 円	
事業費	15,163,203 円	
人件費(収益)		960,000 円
仕入原価(収益)		148,425 円
通信費(収益)		139,010 円
荷造運賃(収益)		308,515 円
外注(収益)		3,215,476 円
支払報酬(収益)		2,814,278 円
プリント費(収益)		659,186 円
消耗品費(収益)		739,287 円
人件費(非営利)		429,224 円
荷造運賃(非営利)		2,433 円
外注(非営利)		3,668,394 円
支払報酬(非営利)		2,042,250 円
消耗品費(非営利)		9,940 円
資料購入費(非営利)		26,785 円
管理費	5,417,115 円	
水光熱費(収益)		367,472 円
資料館家賃(収益)		2,374,681 円
交際費(収益)		24,872 円
租税公課(収益)		30,500 円
支払手数料(収益)		34,398 円
旅費交通費(収益)		101,880 円
諸会費(収益)		13,000 円
廃棄物処理(収益)		52,832 円
収蔵庫家賃(非営利)		2,278,980 円
支払手数料(非営利)		220 円
旅費交通費(非営利)		138,280 円
税引前当期正味財産増減額		1,730,372 円
法人税、住民税及び事業税		72,000 円
当期正味財産増減額		1,658,372 円
前期繰越正味財産額		▲ 1,197,216 円
次期繰越正味財産額		461,156 円

貸借対照表

I	資産の部	14,151,124 円	
	1	流動資産	
		収益事業現金	0 円
		非営利活動小口	0 円
		郵便貯金(預かり金用)	10,010,076 円
		郵便貯金(大阪貯金事務)	936,000 円
		三菱UFJ(非営利活動用)	2,516,492 円
		未収入金	548,900 円
		立替金	139,656 円
	2	固定資産	
		固定資産合計	0 円
II	負債の部	13,689,968 円	
	1	流動負債	
		短期借入金	3,607,968 円
		未払法人税等	72,000 円
		預り金	10,010,000 円
	2	固定負債	
		固定負債合計	0 円
III	正味財産の部	461,156円	
		前期繰越正味財産	▲ 1,197,216 円
		当期正味財産増加額	1,658,372 円
		負債及び正味財産合計	14,151,124 円

NPO法人プラネット映画保存ネットワーク
2020年度(第2期) 年間報告

発行日:2021年7月29日

発行:NPO法人プラネット映画保存ネットワーク

〒653 - 0036

神戸市長田区腕塚町5丁目5番1 - 201

アスタくにつか1番館北棟2F

神戸映画資料館

Tel 078 - 754 - 8039

e-mail info@kobe-eiga.net

<https://www.kobe-eiga.net/>
